

令和4年度 地域研修 基本カリキュラム等

下記の基本カリキュラムを基本に、地域のニーズに合わせて追加単元・調整単元を調整して地域研修を実施する。

※各地域のカリキュラムの調整状況は次ページ参照。

□ : 基本単元 □ : 追加単元 □ : 調整単元

| 区分 | 単元 | 時間 (目安) | 単元の概要 | 講師 | 学習目標 | |
|----------------------------------|----|---------------------------------------|--------------------|--|------------|--|
| オンデマンド講義 (約1ヶ月間実施) | 1 | 防災行政概要 | 50分 | 防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学ぶ。 | 内閣府 | ・防災活動の全体像と考え方、段階ごとの活動の概要を説明できる。 |
| | 2 | 災害法体系 | 40分 | 防災活動の前提となる法律を学ぶ。 | 内閣府 | ・防災活動に関連する法令の概要を説明できる。 |
| | 3 | 防災計画 | 40分 | 防災計画の基本的な知識を学ぶ。 | 内閣府 | ・防災計画(BCPと受援体制を含む)の概要を説明できる。 |
| | 4 | 地域の災害特性 | 60分 | 地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。 | 地方 気象台等 | ・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。 |
| | 5 | 警報避難の枠組み | 60分 | 避難情報判断、住民伝達、避難行動などについて、「避難情報に関するガイドライン」を中心に学ぶ。 | 内閣府 | ・警報等の伝達及び避難情報の判断・伝達の流れを説明できる。 |
| | 6 | 被災者支援の枠組み(A) (災害救助法と仮設住宅) | 40分 | 災害救助法の概要や応急仮設住宅(建設型、賃貸型等)の提供業務の仕組みと概要について学ぶ。 | 内閣府 | ・災害救助法の概要を説明できる。 ・応急仮設住宅(建設型、賃貸型等)の仕組みと業務の概要を説明できる。 |
| | 7 | 被災者支援の枠組み(B) (避難生活支援) | 40分 | 災害救助法に基づく避難所の開設・運営業務及び多様な被災者への対応について、ガイドラインや事例を交えて学ぶ。 | 内閣府 | ・避難所の開設・運営と多様な被災者への対応を説明できる。 ・感染症対策に留意した避難所運営を担うことができる。 |
| | 8 | 被災者支援の枠組み(C) (生活再建支援①) | 25分 | 住家の被害認定調査や罹災証明書交付業務の概要について学ぶ。 | 内閣府 | ・住家被害の調査や罹災証明書の交付業務の仕組みと業務の概要を説明できる。 |
| | 9 | 被災者支援の枠組み(D) (生活再建支援②) | 25分 | 被災者生活再建支援法の概要について学ぶ。 | 内閣府 | ・被災者生活再建支援法の概要を説明できる。 |
| | - | 追加単元 (地区防災計画、災害応急対策、物資調達等、地域の希望により追加) | | | | |
| 対面での演習/ オンラインでの演習 (半日程度実施) | 1 | 災害対応過程と態度を学ぶ | 120分 +10分 休憩 | 実際の災害発生時の地方公共団体の対応事例を題材に、事前対策や災害対応に対する心構えを学ぶ。 | 事務局 | ・災害発生前後に必要な行政の対応の流れを具体的に説明できる。 |
| | 2 | 災害対策本部における対応 | 160分 +20分 休憩 | 特定状況や課題に対する災害対策本部としての対応目標の設定及び対策立案を中心とする災害対応上のポイントを学ぶ。 | 事務局 | ・災害対策本部の運営における目標管理と情報共有の重要性及び対策立案の方法について説明できる。 |
| | 3 | 全体討論 (ふりかえり) | 60分 | 研修全体を通じて学んだことから、地域の防災力向上や備えに反映させるべきことを受講者間で考える。 | 事務局 | ・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・日頃からの「備え」につなげることを認識する。 |

■ 各地域の研修カリキュラム

令和4年11月30日時点

| 実施対象団体 | | 三重県 | 埼玉県 | 鹿児島県 | 高知県 | 奈良県 | 岡山県 | 宮城県 | 北海道 |
|---------------------|-------------------------------------|--------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|
| オンデマンド講義実施時期(予定) | | 8/1(月) ~8/22(月) | 8/15(月) ~9/15(木) | 9/26(月) ~10/21(金) | 10/18(火) ~11/18(金) | 11/16(水) ~12/16(金) | 11/21(月)~ 12/16(金) | 12/5(月) ~1/5(木) | 12/19(月) ~1/26(木) |
| 提案カリキュラムの有無 | | 無 | 有 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 無 |
| 調整・実施状況 | | 実施済 | 実施済 | 実施済 | 実施済 | 実施中 | 実施中 | 受講者募集中 | 調整中 |
| 申込者数 | | 35名 | 47名 | 18名 | 20名 | 21名 | 19名 | 30名 | - |
| オンデマンド講義 | 基本単元 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 地域の災害特性 | 気象台 | 気象台 地方整備局 | 気象台 | 気象台 | 気象台 | 気象台 | 気象台 地方整備局 | 気象台 |
| | 地区防災計画 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | 災害応急対策 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 物資調達 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| | ISUT(災害時情報集約支援チーム) | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| | 災害ボランティア | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| | 復旧・復興対策 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| | 災害対策基本法等の改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| | 災害対応力を強化する女性の視点 ~男女共同参画の視点からの防災~ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| その他の追加単元(詳細は次頁) | 有 | 有 | 無 | 有 | 有 | 有 | 有 | 無 | |
| オンラインでの演習 対面での演習 | 演習実施日と実施形式 | 8/26(金) オンライン | 9/22(木) 対面形式 | 10/28(金) 対面形式 | 11/25(金) オンライン | 12/26(月) オンライン | 12/23(金) 対面形式 | 1/12(木) オンライン | 2/2(木) オンライン |
| | 演習にご協力いただく有識者 | 小山先生 | 宇田川先生 | 国崎先生 | 小山先生 | 鍵屋先生 | 木村先生 | 丸谷先生 | 鍵屋先生 |
| | 調整単元 | ○ | ○ | ○ | ○ | 鍵屋先生による演習 | ○ | ○ | 要調整 |
| | 災害対応過程と態度を学ぶ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 災害対策本部における対応 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 全体討論(ふりかえり) | ○ | ○ | 国崎先生による演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

■その他の追加単元の詳細

今年度から、地域の課題やニーズに合うものを有明の丘研修の講義から地域が選択し、地域研修のオンデマンド講義に追加することを可能とした。
地域が追加を希望した単元は以下の通り。

| 三重県 | 埼玉県 | 高知県 | 奈良県 | 岡山県 | 宮城県 |
|--|---|---|---|--|--|
| 被災者支援コース <ul style="list-style-type: none"> 個別避難計画の作成 | 指揮統制コース <ul style="list-style-type: none"> 災害広報 人材育成コース <ul style="list-style-type: none"> 訓練・研修企画手法 対策立案コース <ul style="list-style-type: none"> 応急期の政府支援 | 警報避難コース <ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震臨時情報 | 応急活動・資源管理コース <ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体間の相互応援と受援体制 初動対応における国との連携 被災者支援コース <ul style="list-style-type: none"> 要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援 個別避難計画の作成 対策立案コース <ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部が行う対策立案プロセス | 警報避難コース <ul style="list-style-type: none"> 避難情報の発令判断・伝達等 土砂災害における警報と避難 土砂災害の事例に学ぶ 風水害における警報と避難 風水害からの警報避難における決心 | 災害への備えコース <ul style="list-style-type: none"> 企業防災 行政のBCP、BCM 住民啓発 応急活動・資源管理コース <ul style="list-style-type: none"> 初動対応における国との連携 地方公共団体間の相互応援と受援体制 災害廃棄物処理 救援物資ロジスティクス演習 対策立案コース <ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部が行う対策立案プロセス 地図による状況認識の統一とISUTの試み 応急期の政府支援 効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法 人材育成コース <ul style="list-style-type: none"> 訓練・研修の実際 訓練・研修企画手法 訓練企画運営実践 I（状況付与型図上演習） 総合監理コース <ul style="list-style-type: none"> 総合防災政策 応急対策の実態 |

※鹿児島県および北海道は、有明の丘研修の講義動画の追加の希望は無し

■地方自治体による自立した研修に向けた取組

1. 人的ネットワーク構築の取組みの強化 (R3年度から継続)

- 名簿の共有
- 受講者同士の自己紹介の実施
- 意見交換の場を設定

2. 地域検討会の設置に向けた検討

⇒地方自治体、防災SP養成企画検討会委員等、内閣府防災、委託業者の4者での打合せの形で、地域検討会のパイロット版を実施あるいは実施予定

防災SP養成企画検討会委員等の有識者にご協力いただいた事項

- 地域検討会にて地域の課題や要望を踏まえた地域研修プログラムの改善点等の助言
- リアルタイム研修当日の参加(専門分野についての講義・演習、演習の講評等)
- リアルタイム研修をふりかえって、次年度に向けた改善点等の助言

3. 受講者のニーズに応じた独自コンテンツの増設

⇒埼玉県: 「地域の災害特性」において、関東地方整備局によるTEC-FORCE関連講義を増設

⇒宮城県: 「地域の災害特性」において、東北地方整備局によるTEC-FORCE関連講義を増設
また、県の希望で新型コロナウイルス感染症下での避難所開設・運営に関する講義を追加